

製品名: PKA R2 ウサギモノクローナル抗体**カタログ番号: AMRe86272**

研究使用のみ

概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,FC,IP
反応性	人間
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	-
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50mM トリスグリシン（pH 7.4）、0.15M NaCl、40%グリセロール、0.01%アジ化ナトリウム、0.05%保護タンパク質を含む溶液で提供されます。受領日から12ヶ月間安定です。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:1000-1:5000,IHC 1:50-1:200,ICC/IF 1:200-1:500,FC 1:20-1:50,IP 1:20-1:50
分子量	Calculated MW:46 kDa; Observed MW:50 kDa

抗原情報

遺伝子名	PKA R2
別名	PKR2; PRKAR2
遺伝子 ID	5576
SwissProt ID	P13861
免疫原	ヒト PKA R2 の合成ペプチド

背景

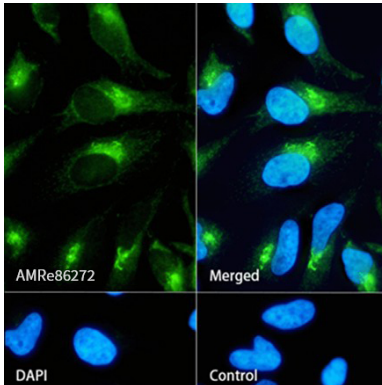
cAMPは、様々な細胞機能にとって重要なシグナル伝達分子です。cAMPは、cAMP依存性プロテインキナーゼを活性化することで

その効果を発揮し、このキナーゼは様々な標的タンパク質のリン酸化を介してシグナルを伝達します。不活性型キナーゼのホロ酵素は、2つの調節サブユニットと2つの触媒サブユニットからなる四量体です。cAMPは、不活性型ホロ酵素を、4つのcAMPと2つの遊離単量体触媒サブユニットに結合した調節サブユニットの二量体へと解離させます。ヒトでは、4つの異なる調節サブユニットと3つの触媒サブユニットが同定されています。この遺伝子によってコードされるタンパク質は、調節サブユニットの1つです。このサブユニットは、活性化された触媒サブユニットによってリン酸化されます。様々なAキナーゼアンカータンパク質と相互作用し、cAMP依存性プロテインキナーゼの細胞内局在を決定する可能性があります。このサブユニットは、エンドソームからゴルジ体、さらには小胞体 (ER) へのタンパク質輸送を制御することが示されています。 [RefSeq 提供、2008年7月]

研究分野

-

画像データ



PKA R2 ウサギモノクローナル抗体を使用して PKA R2 を標識した HeLa 細胞の免疫蛍光分析。